

序 思考700以上の  
700のステップ

知的思考の必要性

① 深く考える  
上手に考える

7-700と漢字

カーナビと空間認識

利便性を得る代償 思考する機会を失う

思考力の低下

思考力の回復

深く考える必要

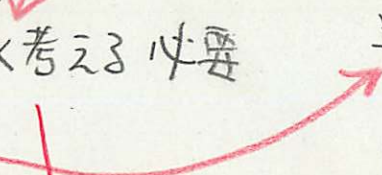
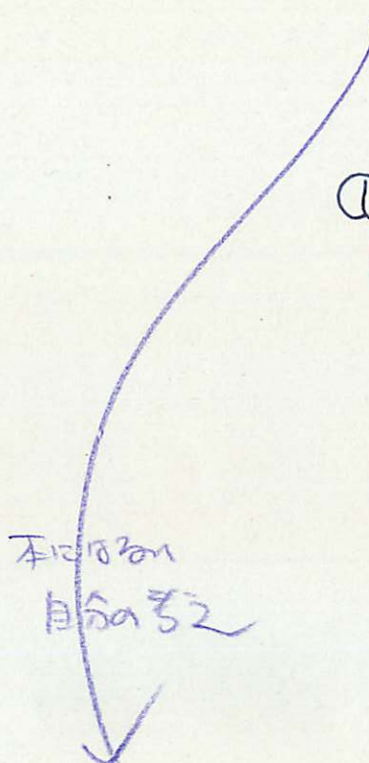
上手に考える

思考作法を知ること

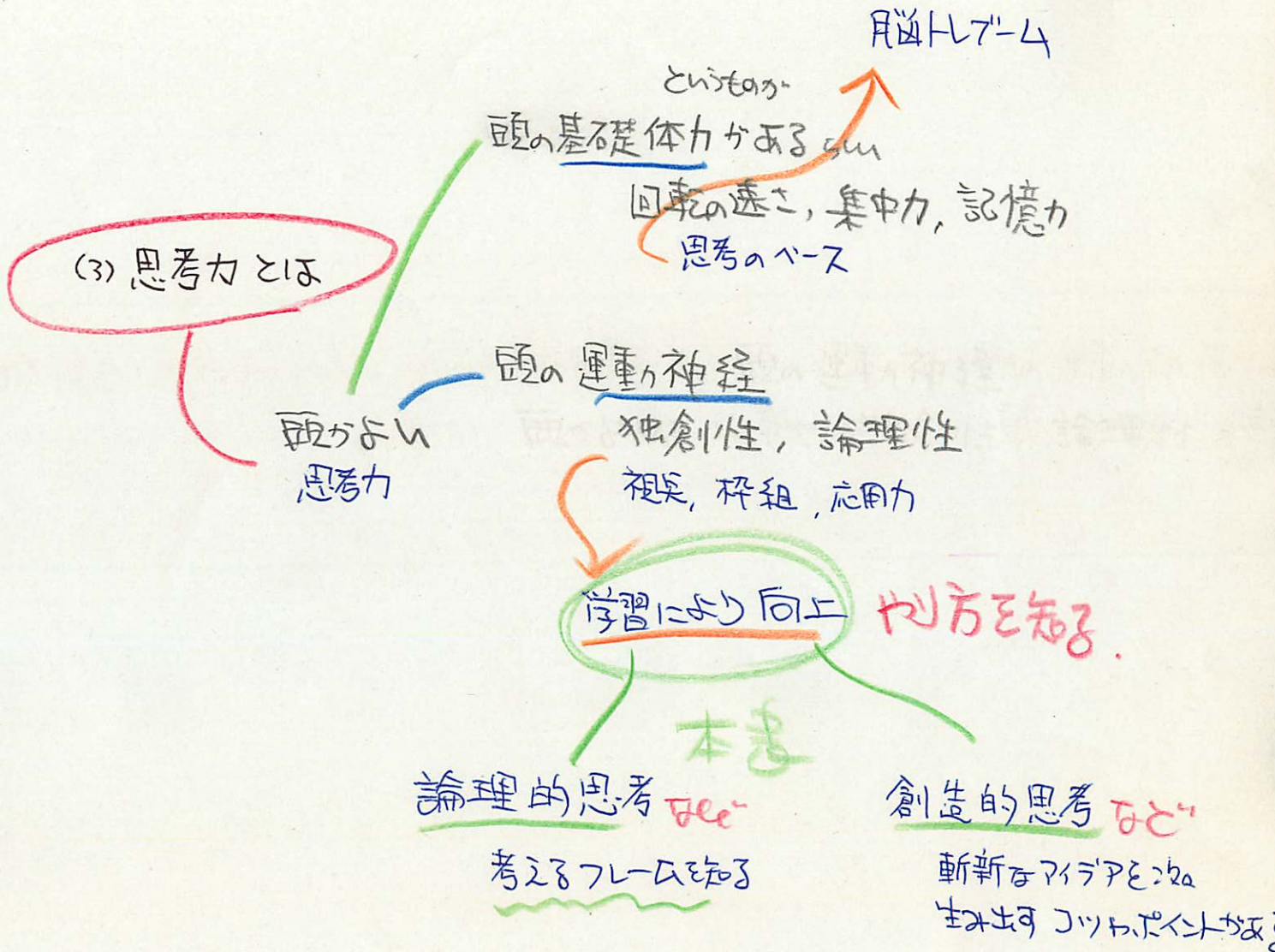
憶える技術

考える技術

本に学ぶ  
自らの考へ









上手に考えるための  
考え方を学ぶ

勝負師の思考法

自己認知

自分を客観的に見る

外的な側面 (言葉, 動作) に対して

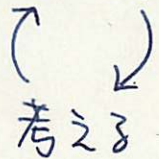
内的 " (考え, 感じ)

自分の認知活動と

自分で認知すること

思考プロセスにおける7つのステップ

考えることと考える



その考え方が

目的探索

主題

観察

羅列  
整理  
関連

発想

分類

構造化

抽象化  
outlining

意志決定

辯護化

表現



# 1章 目的探索の思考

目的を明確にするには

1. 何の為にやる

のか、本末転倒

妥当目的を考へよう

2. 必要性

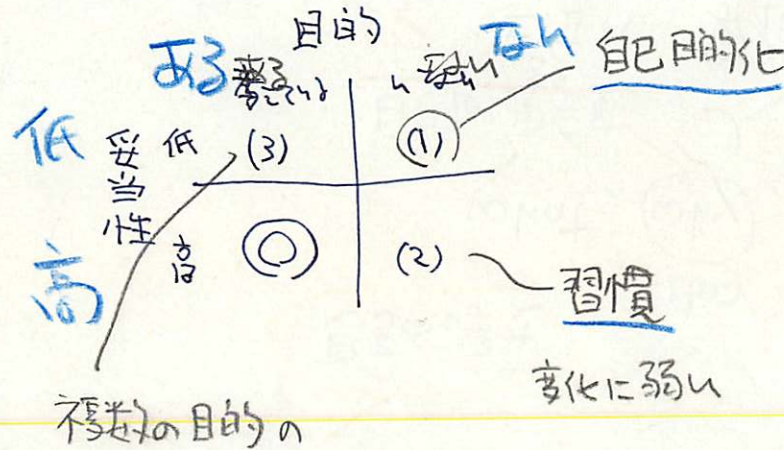
日常や環境の変化に対し、  
自分の行いを通じて必要性、  
この誰か目的、  
目的を通じて

妥当か？  
妥当性は変化ある

3 目的探索の思考  
の考へ方

## 目的探索

何かを始めた時、  
成し遂げようとする事柄  
について考へること



複目的の優先順位と関係

# 4 目的探索を正しく行なう

思考の幅

複数の立場  
から考える

状況の構造図化

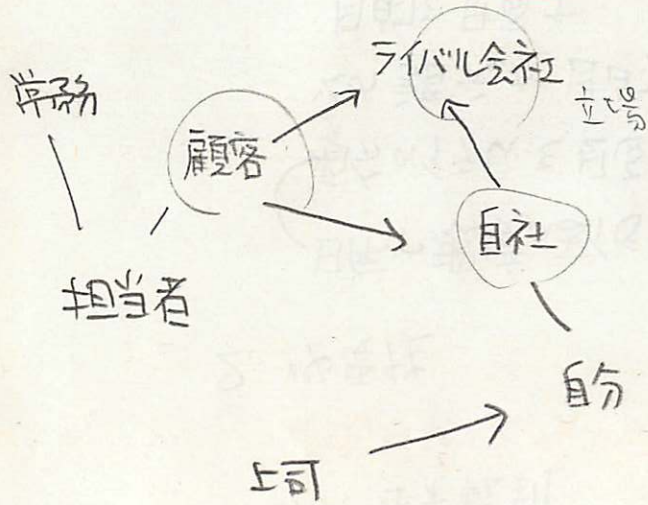
ルール

思考の深さ

目的  
what, (why), how

目的の連鎖

ルール 上位へ昇化





観察の思考

先入観 固定観念

多面的収集  
(情報)

真の姿を正確に

自己収集

Top-down

bottom-up

多様な視点

異なり立場

本来の目的

目的探索のため

正確な観察を  
シヤルための

他者が  
収集したものを

情報の裏側を読む

critical reading thinking

意図を読みとる

構造、  
論理を洗う

隠された前提条件を探る

推論

自分の期待、嗜好と相反の結論を想定

部分的

他の可能性

4分割マトリクス

ツール

目的

自分の目的バイアス

期待バイアス

過去の経験バイアス

原因分析

他者

受け入れがたい証拠

ウソに惑わされたり、



3.発想の思考

発想のスキルを習得しよう

発想とは

数多くの思いつきを得ること  
(アイデア)

アイデアを得るための下地作り  
見えていない領域がある

認識  
文化  
感情

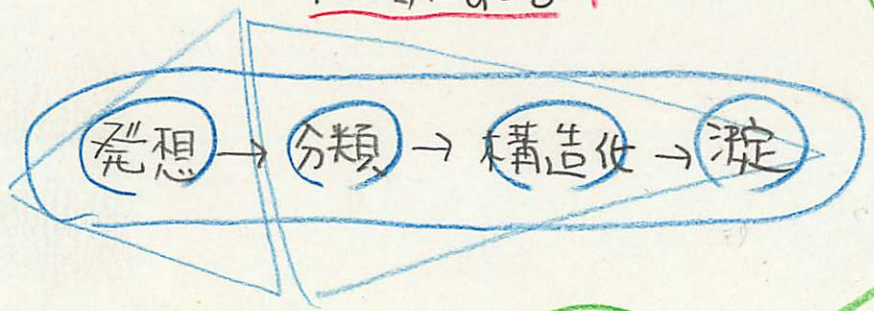
多岐的  
でいること  
に意味

いかに多くあか

水平、  
四維列  
発散思考  
と  
収束思考

まとめる  
構造を把握。

同時によるな?



技法

自由連想法

強制 "

類比

共通性と差異

自由

ブレインストーミング

置、自由、  
批判する  
結合改善

わり方

属性列挙

フェックリス列挙  
欠点列挙  
希望 "

対類  
近  
具体  
抽象



分類の思考

2 分類とは  
属性の同じ  
ものを集める

人は種類がある  
「違い」と「同じ」を見つけおとす

1 分類の必要性

わからなかったことが  
わかるようになるから

単純化,  
整理, 保存, 検索可  
の効率

観察による  
思考対象も  
"目的に従って"  
違う部分で分け  
同じ部分でくくること

⇒ 思考

わかること ⇔ 分けること  
突合時 ⇔ 比べ, 異と同.

3. 分類の方法

分類の原則

- 学術体系準拠性 — 対象水準の統一
  - 相互排他
  - 包括性
  - 段階性
- ミヤビク  
ダブツなく

4. わからないときは分ける



部分どうしの関係と  
(グループ)  
明らかにし、  
全体の意味と理解

why

とは  
what

構造化の思考



意志決定の思考



図解で思考する

表現の思考

what

思考活動の結果を  
具体的な形として  
表わすこと

言葉で思考する

語彙を豊かに

概念定義

言葉の定義を明確にする

文章による

数値で思考する

数える, 比較,

数値化, 分析